

テーマ別パスファインダー



イスラームについて学ぶ



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2019年11月25日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ イスラームとは？

イスラームは信徒数 18 億人を超える世界宗教であり、日本を含む世界各地でますます存在感を増してきています。イスラーム地域の言語を専攻するしないにかかわらず、今後の世界について考えるうえでイスラームのことを無視することはできません。

このような状況の中で、ここ数年、イスラームについての出版も活発になってきています。一般向けの概説書から骨太の研究書までさまざまな本から情報を得ることができるようになりました。イスラームについて学ぶ第一歩として、この冊子が皆さんの助けになることを願っています。

＜ 呼称について

日本では長らく「イスラム教」という呼称が採用されてきましたが、近年では中東／イスラーム研究者の間では「イスラーム」と呼ばれることが多くなっています。

これは一つには原音主義によるものです。英語化した Islam を取り入れたために短母音になっていましたが、アラビア語の إسلام (islām) に即した長母音で表記されるようになりました。ただしイスラーム圏では様々な言語が話されており、その中には異なる読み方をする言語もあります。特定の地域についての研究では、当地での呼称が採用されることもあります。

また「教」が取られるようになったのは「イスラームは単なる宗教ではない」という考え方によるものです。イスラームとは、法であり倫理であり、政治や経済のシステムであり、信仰者の生活と社会を包括するものであって、宗教のみにとどまらないという意味で単に「イスラーム」と呼ばれるようになりました。しかしこれには『宗教』の枠から外れるのはイスラームだけではない」という批判もあります。

このような問題もありつつ、ここでは主流となっている「イスラーム」を採用しています。

参考

池内恵 (2008) 『イスラーム世界の論じ方』 中央公論新社 【302. 28 || 124】

中田考 (2004) 「宗教学とイスラーム研究—規範的アプローチの構築のための準備作業—」 『宗教研究』 78 (2) pp. 243-267

関係分野：宗教学、社会学、文化人類学、地域研究

II. まずはここから

＜ 塩尻和子 (2007) 『イスラームを学ぼう 実りある宗教間対話のために』 秋山書店

大阪外国語大学アラビア語専攻出身の宗教学者による概説書です。イスラームについて知っておくべき知識がつまっています。イスラームについて勉強するならまず目を通してみましょう。

【外国図 | 167 | 677】

＜ 小杉泰, 黒田賢治, ニツ山達朗編 (2018) 『大学生・社会人のためのイスラーム講座』 ナカニシヤ出版

イスラームについて学ぶ上での基礎知識から始まり、現代社会を生きる大学生・社会人が興味をもつであ

ろうイスラームの諸側面について幅広く取り扱われています。現代の国際社会とイスラームの関わりに関心があればこちらがおもしろいでしょう。読書案内も充実しています。

【外国図 | 167 | | 733】

III. イスラーム法学・神学

◀ 中田考 (2015) 『イスラーム法とは何か?』 作品社

イスラーム法学に関する概説書です。宗教と聞くと、信仰=心の問題と考えがちですが、イスラームでは神の律法に従って生きるという観点から、法学が重要視されます。本書ではイスラーム法の細かな内容ではなく、法とは何か、なぜイスラームでは法が重要なのか、が説かれます。現代日本における法とは全く違った存立構造をもつイスラーム法を学ぶと、社会の見方が変わることでしょう。

【外国図 | 322.28 | | 187】

◀ 眞田芳憲 (2000) 『イスラーム法の精神』 中央大学出版部

法学の立場からイスラーム法が分析されます。細かな規定についてもよくまとめられています。

【外国図 | 322.28 | | 97】

◀ 松山洋平 (2016) 『イスラーム神学』 作品社

イスラーム神学に関する概説書です。イスラーム教徒（ムスリム）の信じている神とはどのような存在なのでしょう。キリスト教と同じ神って聞いたけど…、という方に。ムスリムが1500年間、神について考え続けてきた歴史の重みを感じてください。

【外国図 | 167.1 | | 132】

IV. クルアーンを読む前に

イスラームの聖典『クルアーン』。日本では「コーラン」と呼ばれてきましたが、近年ではアラビア語の発音に近づけて「クルアーン」と書かれることが増えています。クルアーンは神の言葉として絶対視されず。

主な日本語訳としては、

- ・井筒俊彦訳(1964)「コーラン」岩波書店、(外国図【167.3 | | 1671 | | 上・中・下】)
- ・三田了一訳(1982)「聖クルアーン：日亜対訳注解」日本ムスリム協会、(外国図【167.3 | | 39】)
- ・藤本勝次, 伴康哉, 池田修訳(2002)「コーラン」中央公論新社、(総合図【167.3 | | KOR | | 1, 2】)
- ・中田香織, 下村佳州紀訳(2014)「日亜対訳クルアーン」作品社、(外国図【167.3 | | 285】)

などがありますが、前提となる知識を持たずにいきなり読むのは難しいものです。

◀ 松山洋平編 (2018) 『クルアーン入門』 作品社

神の言葉として絶対視されるといっても、文脈を無視し、言葉だけをとりだして理解することはできません。相互に矛盾するように見える聖句をどう解釈するべきか、長い議論の歴史があります。多くの研究者の努力により、手軽にクルアーンの日本語翻訳が手に取れる現代だからこそ、読み方にも注意を払わなければいけないのだと思います。

【外国図 | 167.3 | | 291】

V. 大家：井筒俊彦

日本でイスラーム研究をする上で井筒俊彦（1914-1993）の業績を無視することはできません。多くの言語に精通し、西洋哲学から東洋哲学まで股にかける、まさしく大天才でした。クルアーンの翻訳やその意味論的研究をはじめ、イスラーム思想研究に数多くの著作があります。英語での著作も多く、イスラーム諸国も含めた様々な国々の研究者からも高く評価されています。

近年では、その関心や思想の独自性から「日本におけるイスラーム理解を捻じ曲げた」といった批判もなされるようになってきています。しかし書物を理解する際に、その書かれた時代や著者の思想を考慮しなければならないのは当然であり、それによって著作の価値が失われることはありません。これからも長く読まれ続けていくことでしょう。

＜ 井筒俊彦（1991）『イスラーム文化：その根柢にあるもの』岩波書店

【外国図 | 167.3 | 291】

岩波文庫版【外国図 | 167.01 | 167】

＜ 井筒俊彦（1983）『コーランを読む』岩波書店

【外国図 | 081 | 142 | 1】

＜ 井筒俊彦（2013-2016）『井筒俊彦全集』慶應義塾大学出版会

【外国図 | 108 | 69 | 1】

VI. 文化・社会人類学

＜ 大塚和夫（2001）『イスラーム的：世界化時代の中で』日本放送出版協会

文化人類学・社会人類学では、「生きられるイスラーム」に焦点が当てられます。市井の人々が何を信じ、何をしているのか解明することを目指すのです。難しい本をたくさん読んで神の言葉のより正しい理解を目指すイスラーム学者の姿も「イスラーム」ですが、一般の人々が日々の生活の中で考え、祈り、行動している姿もまた「イスラーム」なのです。エジプトやサウジアラビアでのフィールドワークを通して、また違った「イスラーム」を見てみましょう。

【外国図 | 389.28 | 33】

講談社学術文庫版【総合図 | 089 | GA | 2306】

＜ 多和田裕司（2005）『マレー・イスラームの人類学』ナカニシヤ出版

現在では、中東よりも東南アジアに多くのムスリムが住んでいることがずいぶん知られるようになりました。イスラーム発祥の地、アラビア半島から遠く離れたマレーシアでのフィールドワークによって、「イスラーム」の多様性と普遍性が明らかになります。

【外国図 | 382.239 | 3】

＜ 小河久志（2016）『「正しい」イスラームをめぐるダイナミズム：タイ南部ムスリム村落の宗教民族誌』大阪大学出版会

タイにもムスリムは多く居住しており、特に南部にはイスラームの伝統が根付いています。「正しさ」を求めるイスラームの複雑なあり方が描かれます。

【総合図 | 162.237 | OGA】

VII. 事典・ハンドブック

勉強・研究に役立つ必携書をまとめました。ご利用ください。

- ◀ **日本イスラム協会監修（2002）『新イスラム事典』平凡社**
【外国図 | 167.03 | |5】
- ◀ **大塚和夫ほか編（2002）『岩波イスラーム辞典』岩波書店**
【外国図 | 167.03 | |40】
- ◀ **三浦徹，東長靖，黒木英充編（1995）『イスラーム研究ハンドブック』栄光教育文化研究所**
【外国図 | 167.08 | |5 | |別冊】
- ◀ **小杉泰，林佳世子，東長靖編（2008）『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会**
【外国図 | 228 | |285】

[図書/論文の検索]

論文や Pathfinder に掲載されている図書等を検索するには

【図書・ジャーナル】

- ・外国学図書館各階にある検索端末を利用するか、お持ちのデバイスで検索してください。
- ・その際は、書名、出版社、著者名、ISBN、ISSN 等を OPAC 検索に打ち込んでください。

【電子ジャーナル】

- ・電子ジャーナルの種別によって学内・学外からのアクセスの可否が異なります。
- ・多くの場合は「附属図書館 HP」→「電子ジャーナル」で検索できます。見つからない場合はメインカウンター/LS カウンターまでお問い合わせください。

[パスファインダーの凡例]

◀ 図書名はすべて以下の順に表記されています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と請求記号を記しました。

総合図→総合図書館

生命図→生命科学図書館

理工図→理工学図書館

外国図→外国学図書館

電子→電子ジャーナル

Web→Web ページ

◀ 外国学図書館を中心に紹介していますが、貸し出しされている場合でも、他館から取り寄せできます(要2日程度)。予約や取り寄せ等は OPAC から行うか、メインカウンター/LS デスクまでご相談ください。

◀ 検索や購入のために

ISBN : 各図書固有の識別番号。検索や購入に。

ISSN : 各雑誌固有の識別番号。検索に。

を記してある場合もあります。